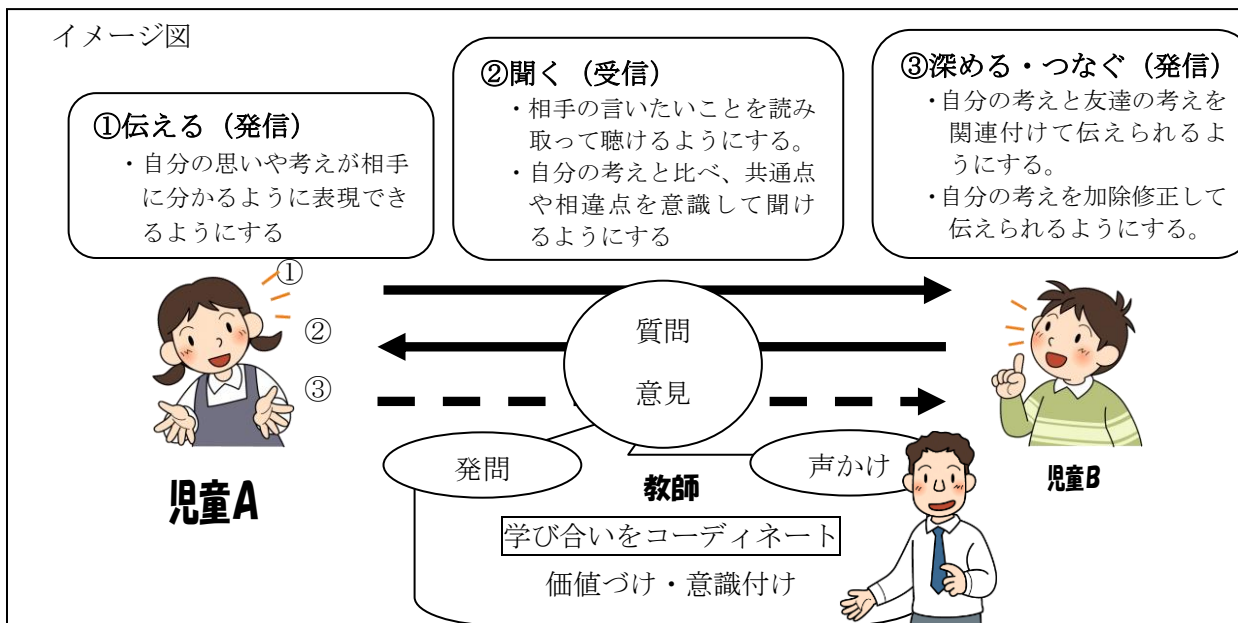


# 1 回半の学び合い活動



**学び合いの土台となる児童の意識を変える**

- 意見は「まちがえてよく」、むしろ、まちがえの中に、思考を深めるキーワードがある。
- わからないときでも、「今の自分の状態」を伝えることが大切である。
- 「正解を言える＝良い」ではない。むしろ「意見を発信できる＝良い」。

回	過程	留意点
1回	<p><b>①伝える（発信）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を述べる</li> </ul> <p><b>②聞く（受信）</b></p> <p>国語 学習指導要領「聞くこと」</p> <p>【高学年】 相手の意図を捉えて聞く</p> <p>↑</p> <p>【中学年】 自分の意見との共通点と相違点を明確にして聞く</p> <p>↑</p> <p>【低学年】 自分の意見と比べて聞く</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のわかっているところまで話すことを意識づける</li> </ul> <p><b>児童の反応・思考・つぶやき例</b></p> <p>同意「同じだ」「似ている」</p> <p>反対「ちがう」「でも」「えっ」</p> <p>理解「なるほど」「ああ」「そうか」</p> <p>疑問「えっ？」「どういうこと？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>わからないことは聞き返し、質問することを意識づける。</li> </ul>
1回半	<p><b>③深める・つなぐ（発信）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再度、自分の考えを述べる</li> <li>友達の意見と「つなげて」話す意識をもつ</li> </ul> <p>【高学年】では、特別活動での話し合い方が十分定着している。必要に応じて、「出し合う」「比べ合う」「まとめる」の段階を生かし、グループでの答えを見つけさせたい。</p>	<p><b>児童の語りはじめの例</b></p> <p>「〇〇さんと同じで～」</p> <p>「〇〇さんに付け足しで～」</p> <p>「～は同じで～はちがって」</p> <p>「意見が変わって～」</p> <p>※ 話し合い名人指導事項</p>

ペア・グループ活動から、全体で話し合うときには…

児童の発言の主語は「私」ではなく「**私たちは**」